

事業所名

放課後等デイサービスてるみー

支援プログラム

作成日

令和8年5月1日

法人（事業所）理念		私たちは、一人ひとりの「今」を大切にしながら、安心して未来へ進んでいける環境を創ります。利用者・ご家族・地域・職員とのつながりを大切にし、誰もが自分らしく笑顔で暮らせる地域社会の実現を目指します。											
支援方針		子どもの気持ちや個性、得意なこと苦手なことを理解し、安心して自分らしく過ごせる環境をつくります。遊び・学び・さまざまな体験や人との関わりを通して、子ども自身の「やってみたい」という気持ちを大切にし、挑戦する力を育みます。一人ひとりの小さな「できた」を認め、自信につなげながら生活する力・人と関わる力・自分で考えて行動する力を育てます。家庭や学校、地域とのつながりを大切にし、子どもの今だけではなく、これからの成長や自立を見据えた支援を行います。											
営業時間		学校日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	日々の健康状態や生活リズムに配慮し、心身ともに安心して過ごせる環境を整えます。食事や水分摂取、手洗いなどの衛生習慣、身支度、持ち物の管理、整理整頓、時間や予定を意識することなど、日常生活に必要な力を一人ひとりの発達段階に合わせて支援します。また、調理活動や買い物、外出活動などの実体験を通して、生活に必要な知識や技能を身につけ、自分でできることを少しずつ増やしていきます。											
	運動・感覚	身体を動かす楽しさを感じながら、姿勢保持や身体の使い方、バランス感覚、協調運動などの力を育てます。外遊びやサーキット運動、水遊びなどの活動に加え、工作や制作、調理、自然体験など取り入れ、手先の操作や力加減、目と手の協調など、日常生活につながる身体の使い方を身につけられるよう支援します。一人ひとりの身体的な特徴や特性にも配慮し、安心して楽しみながら取り組める活動を提供します。											
	認知・行動	遊びや学習、生活、さまざまな体験を通して、物事を理解し、考え、判断し、自分で行動する力を育てます。宿題や個々の課題に取り組み、文字・数字・時間などの学習活動を行うとともに、活動の手順やルール、予定などをわかりやすく伝え、見通しをもって行動できるよう支援します。必要に応じて、絵・写真・文字・スケジュールなどの視覚的な支援を活用し、「どうしたらいいか」を自分で考えたり、選択したり、問題を解決したりする経験を大切にします。											
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちや考えを安心して表現する力と、相手の話を聞き、理解する力を育てます。日常会話や遊び、ゲーム、集団活動、調理や外出などさまざまな場面で、人に伝える・人の話を聞く・質問する・返答する・報告や相談をするといった経験を積み重ねます。また、言葉によるコミュニケーションだけではなく、表情や身振り、指差し、絵、写真、文字など、一人ひとりに合った方法を取り入れ、「伝わった」「分かってもらえた」という経験を増やし、コミュニケーションへの意欲に繋がります。											
	人間関係 社会性	人との関わりを通して、自分と相手の気持ちを理解し、安心して人と関わる力を育てます。友達との遊びや集団活動、共同制作などを通して順番を待つ、ルールを守る、協力する、役割を分担する、譲り合うなどの経験を積み重ねます。また、地域の方との交流や施設見学、社会体験などを取り入れ、さまざまな人や社会に触れる機会をつくります。人との関わりの中で生じる困りごとやトラブルについても、子どもの気持ちを受け止めながら一緒に振り返り、次にどうすればよいかを考えることで、社会生活に必要な力を育てます。											
家族支援		家庭での様子やご家族の思い、子育てに関する悩みや困りごとにも寄り添い、家庭と事業所が連携して子どもの成長を支えます。又、日々の様子や成長、課題などを共有し必要に応じて相談援助や情報提供を行いながら、家庭でも取り組める支援方法を一緒に考えます。					移行支援		現在の生活だけではなく、進級・進学や将来の社会生活を見据え、生活習慣、コミュニケーション、社会性、自己管理など日々の活動を通して育みます。本人の興味や得意なことを伸ばし、自分自身を理解するとともに、必要な場面で助けを求めたり、自分で選択・行動したりする力を育て、次のステップへ安心して移行できるよう支援します。				
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療・福祉機関などと必要な情報を共有し、子どもを多面的に捉えながら支援の方向性を確認します。保護者の同意や個人情報の取り扱いに十分配慮し、関係機関と連携しながら切れ目のない支援を行います。					職員の質の向上		職員の希望する研修への参加や企画を促し、全職員が障害特性の理解や保護者対応、リスクマネジメント、感染症対応など支援に必要な知識や技術について定期的に研修・勉強会を行います。				
主な行事等		・季節のイベント（お花見・遠足・プール・ハロウィン・クリスマス・初詣など） ・宿泊体験・職業体験・ボランティア活動・買い物活動・調理活動											